

## 都市の中の優良農地の保全

都市住民の身近にあって生鮮食料供給し、緑地空間など多面的機能を果たしている優良農地を保全するためには、地域農業の特性に合わせたきめ細やかな基盤整備が必要不可欠です。

### 綾瀬市早川春日原地区

#### 【水利施設等保全高度化事業】

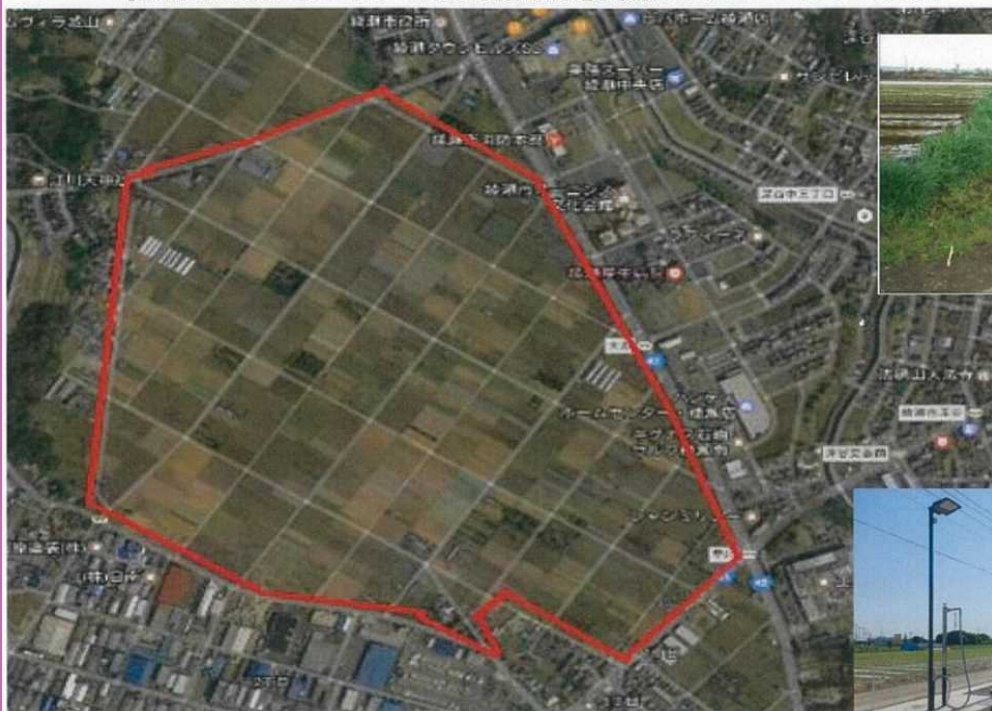
令和元年度事業費 77,000千円 (前年比193%、H30補正合)

県中央部の市街化区域に囲まれた貴重な集団農地 (畑地 68ha)。  
畑地かんがい施設と農道の整備を進めることで生産性の高い営農環境を実現します。

#### 【事業効果】

- 地区全体の所得額が、13,000千円/年増加
- 農道整備による生産性の向上
- 畑地かんがい施設整備による高収益作物への転換(ブルーベリー、スイートコーン)
- ※朝採りトマトは「菜速」と銘打ち、横浜のデパートや北海道のスーパーに出荷している。

【全景】 ※市街化区域に隣接 ※北側に東名高速道路綾瀬IC (スマートインター) 建設中



【未整備の農道】



【再整備された畑地かんがい施設 (給水栓方式)】

### 海老名市本郷地区

#### 【農業基盤整備促進事業】

令和元年度事業費 19,000千円 (前年比63%)

【未整備の用水路 (土水路)】

【整備後の用水路】

駅前の開発や圏央道の開通に伴う流通施設整備など市街地化が進む中で貴重な緑地空間を提供している。



【取水堰を転角落しから倒ゲートに改修】

